

ワールドハンディキャップシステム - よくある質問

1. ワールドハンディキャップシステム (WHS) とは？

ゴルフ規則、用具規則、およびアマチュア資格規則は、USGA と R&A の統括のもと、いずれも全世界で統一化されています。しかしながら、ハンディキャップシステムについては、現在世界で6つの異なる制度が使用されています。各システムは、それぞれの地域で公平にプレーするために開発・運用されていますが、制度の違いによる若干の相違が存在します。WHS は、既存の6つハンディキャップ制度を統一し、下記の要素を満たすシステムを実現します。

- 技量の異なるゴルファーが、いかなる競技方法でも、世界中のいかなるコースでプレーしても、公正且つ公平に競い合うことができる。
- 理解しやすく、運用しやすく、且つ正確性を損なうことがない。
- 世界中のゴルファー、ゴルフ倶楽部、およびゴルフ協会などの様々な要望や期待を満たし、すべてのゴルフ文化に適応する。

既存のハンディキャップ制度運営団体およびその他のナショナル協会との意義深い連携・協力を経て、いまこそ、これらのハンディキャップシステムを統一し、グローバルゲーム促進のために第4の世界統一規則を構築すべきとの合意に至りました。

また本プロジェクトは、既存のハンディキャップ制度運営団体が一同に会し、現在世界中で行われているプレー方法に適し且つ近代的なシステムを開発するためにお互いの経験を共有する絶好の機会となりました。

WHS は、ハンディキャップ規則とコースレーティングシステム（現 USGA コースレーティングおよびスロープシステム）によって構成されます。

2. ワールドハンディキャップシステムの利点は？

国際的なゴルフのプレー頻度がますます高まることで世界は狭くなっており（2016年にゴルフがオリンピック競技に復活したことで示される通り）、単一のハンディキャップシステムを開発することにより、国際競技の運営が簡便化され、また各国のナショナル協会にとっては、国内の育成や戦略的なゴルフ発展に寄与する効果も見込まれます。更に、個人が識別できないゴルフに関するデータを活用して、ゴルフを健全に存続させていくことにも貢献できると考えます。

3. 既存のハンディキャップは、ワールドハンディキャップシステムがどのように扱われるのか？ 新しいシステム導入後は、現在のハンディキャップは変わるのか？

既存のスコア記録は維持され、可能な限りそれを使用して WHS に基づくハンディキャップを算出します。大部分のゴルファーは、既存のシステムが WHS とおおむね類似しているため、ハンディキャップ数値の変化はごくわずかとなります。しかしながら、このことはハンディキャップ算出に使用するスコア枚数など、様々な要因に依存します。従って、各ゴルファーのハンディキャップに与える影響が大きくなるように、新システムへの移行準備期間中にできるだけ多くのスコアをスコア記録に登録するようにしてください。

4. ワールドハンディキャップシステムは、現在各国や地域で行われているプレー方法に影響を与えるか？

世界各地で行われているプレー方法に変更を強いたり、プレー方法のバリエーションを取り除いたりすることは、我々の意図するところではありません。異なるプレー方法や競技の程度などを含み、ゴルフに関わる文化的相違が存在するからこそ、ゴルフというスポーツが世界的に親しまれているのです。ナショナル協会との協力を通して、これらの文化的相違を単一の WHS の中に適応させていくことが我々の目標です。

5. 既存のハンディキャップ制度運営団体とその他のナショナル協会は、ワールドハンディキャップシステムを支持しているのか？

支持しています。できるだけ多くのナショナル協会に賛同してもらうことを目的として、2015年に世界各地で説明会を開催し、非常にポジティブな反応を得ました。また、WHSは関係団体による共同の取り組みであり、既存のハンディキャップ運営団体すべてとプロセスに直接関わっているナショナル協会は、この取り組みについて全面的に支持してくれています。

既存ハンディキャップを運営する6団体は、それぞれの組織内における新システムの承認手続きを完了しました。WHSの統括はUSGAとR&Aが担いますが、ハンディキャップに関わる日々の管理業務については、引き続き既存ハンディキャップ管理団体および各ナショナル協会が責任を持ちます。

6. ワールドハンディキャップシステムについて、ゴルファーやゴルフクラブ関係者と意見交換をしたか？

しました。インターネットのアンケート調査を通して、世界中のゴルファーとゴルフクラブ関係者から意見を募り、合計52,000件の回答を得ました。また、ヨーロッパ、アメリカ、南アメリカの計5ヶ所にて、より詳細な対面調査を実施しました。調査の結果、全体の76%が支持を表明し、22%が現段階では支持・不支持未定、反対意見はわずか2%に留まるなど、非常にポジティブな反応が得られました。

7. ワールドハンディキャップシステム導入に向けたスケジュールは？

新システムに関わる実証試験、コミュニケーション、プロモーション、および教育のプロセスが完了した後、2020年1月に各ナショナル協会がWHS導入を開始できるように計画しています。

8. ワールドハンディキャップシステムについて、その他に知り得る詳細はあるか？

WHSに関するさらなる詳細は、今後情報を追ってお知らせしますが、ここで強調しておきたいのは、WHSはゴルファーが望む正確性と均一性、および持ち運び可能な機能を兼ね備えていると同時に、できるだけ多くのゴルファーが取得・保持できるものとして設計されたものであるということです。

例えば、最小限の枚数のスコアを提出すればゴルファーは新規にハンディキャップを取得することができます。推奨枚数は54ホール分のスコアとし、これは18ホールスコア3枚、9ホールスコア6枚、またはこれらの組合せでも可能です。また、しばらくプレーから遠ざかっていたとしても、一度発行されたハンディキャップが消滅することはなく、ハンディキャップの上限は男女ともに54.0となります。これらの要素は、ゴルフの門戸拡大を目的に設計されたものであり、新たにゴルフを始めたプレーヤーが、ゴルフ界により温かく迎えられたと感じてもらえるようにするためのものです。

WHSは、より多くのゴルファーが自らのパフォーマンスの評価・履歴確認ができるようにすることを目指していますが、同時にすべてのゴルファーがゲームをより楽しめるようにしなければなりません。従って、ハンディキャップの多い初心者がプレーする際は、ホールスコア上限に達したら球をピックアップして適正なプレーのペースを維持するよう、ゴルフクラブが促すことは重要です。

9. ゴルファーとゴルフクラブ関係者に対する、ワールドハンディキャップシステムに関する教育は、いつどのように行われるのか？

教育プログラムは2019年1月から開始する予定です。現在、新システムの導入と運用をサポートするための世界共通の教育プログラムを開発中です。各国内の加盟メンバーに対する教育は、引き続きナショナル協会が責任を担います。

10. ワールドハンディキャップシステム導入に伴う、既存の IT インフラに対する影響は？

スコアの入力、およびハンディキャップの計算と管理に関する方法は、引き続き各ナショナル協会の裁量に委ねられます。ワールドハンディキャップシステムを導入するには、現在全世界で使用されている様々な IT システムに対して、様々なレベルで必ず影響をおよぼしますが、それによる混乱は最小限に留めることができると予測されます。

11. ワールドハンディキャップシステムに関するさらなる情報を知りたい場合は？

www.usga.org または www.randa.org にアクセスしてください。